



# 2年学年だより

発行日:令和5年7月20日(木)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO.4

## 感動の合唱コンクール

校長代理 中澤 務

7月12日(水)に合唱コンクールが開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2年間実施できていなかったことに加え、昨年度は神奈川県民ホールで開催したことから、横浜みなとみらいホールでの開催は4年ぶりとなりました。附属中生は横浜美術館前に集合して会場に移動しました。とても暑い日でしたが、大きな混乱もなく無事に実施することができました。

実際にホールでの歌声はどんなだろう。中澤は音楽の時間などに少しお邪魔して合唱の練習を見ていましたが、教室や音楽室、南高ホールとも違う、とても大きな会場での合唱が成功するのか、ほんの少しだけ心配しておりました。でも2年生の合唱が始まって、その不安は吹き飛ばされました。曲想を踏まえ、思いを表そうと工夫した指揮、ホールに響き渡る美しい歌声とそれを支えるピアノ伴奏…。堂々とした発表に、会場は大きな拍手に包まれました。続く3年生の発表は、どのクラスも曲の場面に合わせ、力強さや繊細さを工夫して表現しているように思いました。午前中の最後を飾るのは1年生。南高・南高附属中校歌と課題曲の学年合唱でしたが、見事に歌いあげていました。大変迫力があり、驚かされました。

この1か月、校舎のどこからか歌声がきこえてくる毎日でしたが、合唱って、一緒に練習したり、リハーサルしたりしないと、ほかのクラスや学年の様子があまりわからないことがあります。これまでクラスや学年の仲間と協力して精一杯練習したり、もっといい合唱、もっといい表現にならないかと意見を交換したり、また意見が合わずうまくいかなかったり、それを乗り越えたりと、さまざまな協力や努力を重ねてきた、それぞれの場所での「感動秘話」みたいなものがたくさんあったらうなって想像しながら、じっくり鑑賞することができました。一つひとつの感動のお披露目として大変素晴らしい会であったと思えました。午後に行われた高校生の合唱は、難しい楽曲に真剣に取り組み、どの発表も迫力がありました。アピールタイムも工夫されていて、本当に楽しめました。一生懸命に合唱に取り組んでくれた皆さん、合唱コンクールがよりよいものになるように、準備や当日の運営の中心となって活躍してくれた文化委員の皆さん、そしてお忙しい中、午前中から会場に足をお運びいただきました保護者の皆さん、すべての皆さんに改めて感謝します。本当にありがとうございました。

7月21日(金)からはいよいよ夏休みが始まります。休みに入ってから1、2年生は英語集中研修があり、1年生は選択 EGG があり、3年生は休みの最後に英語研修旅行があります。行事を通して高めた仲間との協力の姿勢を続け、楽しく参加してほしいと思います。長期の休みなので様々計画があるかと思いますが、熱中症や水の事故に十分に気をつけて、健康に過ごしてください。8月28日(月)の二期の始業式で元気な姿を見せてくれることを願っています。

# 合唱コンクール!

音楽科の高尾先生から温かい講評をいただきました。

1年生の合唱コンクールに比べると格段にレベルの上った曲となり、音取りも難しく表現にも工夫が必要とされ最初は戸惑ったのではないかと思います。

しかし段々と各クラス集中力が増していき、授業や放課後の練習での向上のスピードが毎回すごかったですね。また、お互いに聴き合ったり練習計画をたてたり、アドバイスをするなど自分たちで考えて練習し、上達していく姿がみられ、こうやってクラスで成長していくんだなぁと実感しました。

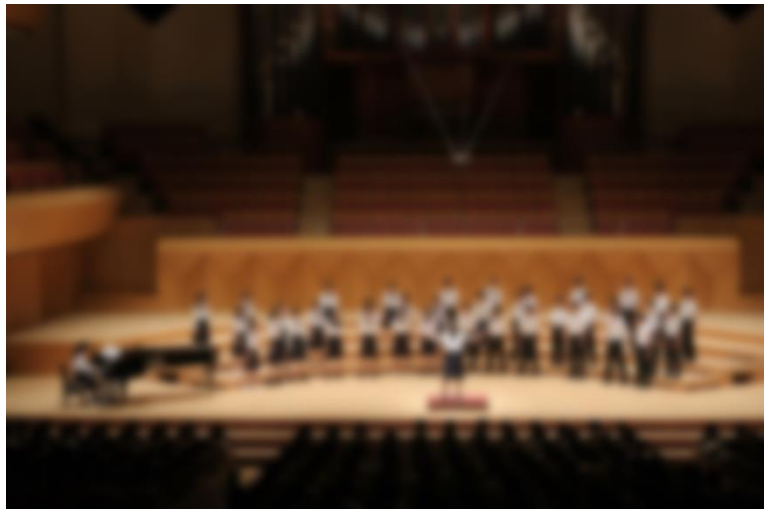
当日は6学年の中で最初に歌う学年として緊張もあったと思いますが、それぞれのクラスが本番一番素晴らしい演奏でした。日々の頑張りを積み重ね、クラスの皆さんで作り上げた合唱が聴いている人それぞれの心を打ったのではないかと思います。

## 1組【流浪の民】

指揮:

伴奏:

各パートが重なり合って和音を構成し全員で一つの大きなメロディーを作っていますが、発声や言葉の発音がよく揃っていてとても綺麗な大きな流れで歌うことができていました。強弱も皆で一斉に表現できていて、繊細さとダイナミックな部分を併せ持つロマの民族をしっかりとイメージできる合唱でした。ソリストの皆さんは緊張を感じさせず堂々とホールに美しい声を響かせることができましたね。その後の合唱がひっそり入ってくる部分も、急に音量を落とし雰囲気を出しながらとても綺麗な歌声でした。その後の急激な盛り上がりも揃って迫ってくるように歌っていて、迫力のあるラストを演出できていました。



## 2組【予感】

指揮:

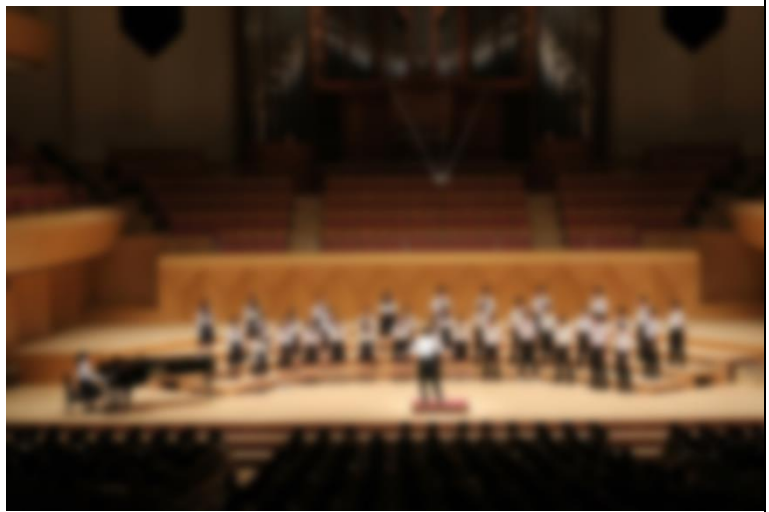
伴奏:

出だしから大変美しいハーモニーを作り出していました。合唱コンクールの幕開けとして素晴らしい歌声でした。3声がよく調和したバランスの良い響きでした。各パートが違う動きをしながら重なり合う部分が多いですが、それぞれのパートがお互いによく音を聴き合い、波が幾重にも重なるような立体感のある合唱ができていました。盛り上がる後半部分では迫力がありながらも美しいハーモニーを最後まで保ち続け、最後は大きな流れとなって聴く人にメッセージがしっかりと伝わる歌声でした。



3組【親知らず子知らず】 指揮： [REDACTED] 伴奏： [REDACTED]

悲劇の物語が心に迫ってくる合唱でした。急激に盛り上がるところは迫力のある歌声で、音量の小さな場面でも静かながらも吸引力のある歌の表現ができていました。歌っている皆さんの感情が伝わってくるようでした。各パートで順々にストーリーを紡いでいきますが、言葉がよく分かり細かい表現の工夫もできていて、情景が目の前に迫ってくるような歌声でした。曲中にある静寂の作り方がとてもうまく、聴く側がそれによりグッと曲の世界へひき込まれていき心を揺さぶられるような演奏でした。



4組【信じる】 指揮： [REDACTED] 伴奏： [REDACTED]

色々な発声やブレス、言葉の注意点をしっかりと守ってとても丁寧に歌えていました。歌詞の意味がよくわかり、「信じる」ことの大切さがメッセージとして伝わってくる合唱でした。中間部の激しいパートでは一転して迫力のある表現ができていました。その後の静かなよみがえる場面では、各パートが難しい音程を美しくゆったりと歌うことができていて、光が差し込んでくるような表現ができていました。総じて音量はあるのにとても丁寧に歌うことができていて、優しくあたたかみのある歌声が印象的でした。最終部分も温かい波が押し寄せてくるような、心があたたまる演奏でした。



みちをのぼやき「時が経つ」とは「成長する」ということだなあ。

先日の合唱コンクールでは11期生のみなさんの迫力ある歌声がとても素敵でした。(様々な方から多くのお褒めの言葉をいただきましたよ)1年前と比べて段違いに良くなっていることが、歌に詳しくない私でもわかりました。日々を過ごすということは、ただ時間が過ぎていくということではなく、「できることを増やす」ということでもあるなと改めて感じました。ぜひこれからの時間も歌声に限らず様々な場面で「できることを増やす」時間にしていきましょうね。

次回の登校日は7/24(月)の英語集中研修(TGG)です。実行委員の人たちが一生懸命に準備をしてくれましたので、みんなで楽しんで学びにいきましょうね。

# 合唱コンクールを支えてくれた文化委員さん！

1組： [ ]、 [ ]

正直、本番忙しくて、あまり他のクラスの発表を聴けませんでした。どのクラスも練習の成果を発揮できたのではないのでしょうか。もちろん、心残りはどのクラスにもあると思います。私も心残りはあって、ソロのときにとても声が震えちゃって悔いが残っています。その心残り、来年の合唱コンで晴らしましょう！今回の合唱コンは、例年より押していた時間が短く終わりました。文化委員だけでなく、生徒一人ひとりがスムーズな移動に協力して臨むことができたから、より早く終わることができました。練習開始から本番当日まで、本当にお疲れ様でした!!次は南高祭。クラス一丸となったこの合唱コンで培った団結力を、最大限生かして臨めるといいなと思います！改めて、本っ当にお疲れ様でした!!



2組： [ ]、 [ ]

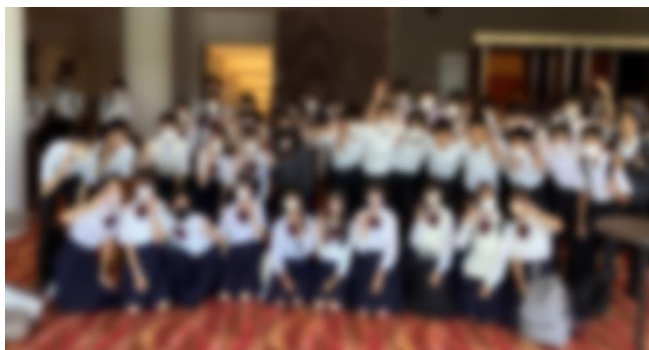
曲が決まって、すぐに練習が始まり、初めはパートごとの練習で、パートの中でもあまりまとまった曲になっておらず、バラバラな曲になっていました。「今日練習あります」というと何人かからは「えー」という声があり、みんなやる気がなさそうでした。初めの割り当て練習のとき、初めて全パートで合わせ、そこから全パートでの練習が増えいき、パート内の仲もよくなっていくのが感じられました。本番の時、舞台袖では、トップバッターであることに不安になっている人、緊張している人もいましたが、互いが互いをはげまし合うことで、落ちついて舞台に立つことができていたと思います。今回の「予感」を歌うにあたり、様々なアドバイスをくれたり、激励を送ってくれた指揮者さん、伴奏者さん、それぞれのパートリーダーさん達はもちろん、よりよい合唱にしようと団結したクラスメートのみんなには感謝してもしきれません。神馬先生もありがとうございました。個人的に今回の合唱コンクールはすごく楽しかったです。



3組： [ ]、 [ ]

練習が始まったころは、全体的にあまりやる気がなく、クラスをまとめるのが大変でした。パートの中で意見がぶつかることもありましたが、今年は初めて順位がついたため、少し緊張感をもちながら練習を続けました。

本番が近づくとつれて、みんなの意識が少しずつ高まり、練習に積極的に参加する人が増えてきたように感じました。また、自分からアドバイスをしてくれる人も増えました。本番では、どのクラスも練習の成果をいかした合唱で、本当にすごかったです。私たちのクラスも、まさか優勝できるとは思わず、とても嬉しかったです。みんなとても喜んでいて、努力して良かったなと思いました。次は南高祭の舞台・展示の部です。今回のように、みんなで団結して、より良いものをつくっていきけるように頑張りましょう。



4組： [ ]、 [ ]

4組は「信じる」を歌いました。この曲は「地雷を踏んで」の所から一気にテンポが速くなったり、「葉末のつゆが」の所からソプラノ・アルトとテノール・バスに分かれたりして、難しい場面があります。練習が始まった時には、アルトは人数が少なくて声が小さかったり、バス・テノールは音程が上手くとれないなど、たくさん直さないといけないところがありました。しかし、練習を重ねていくにつれて、綺麗に音が重なり、曲に強弱が現れるようになってきました。本番では、少し緊張したけれど、移動もスムーズに行えたし、歌も練習通り歌うことができたと思います。

練習など、大変なこともあったけれど、クラスみんなで1つの合唱をつくりあげることができて良かったです。

